

おあしす

2017 年 8 月 モンゴル 草地



ホスタイ国立公園アカシカの休息場所であるシラカバ林（写真中央・窪地の林）



ホスタイ国立公園の山頂から望む



ドローン空撮によるハラ川と放牧地（バヤンボーラル：48°28'27"N 106°47'29"E）

（写真提供：関山絢子）

2017 年度学会賞受賞候補者推薦のお願い（再掲）

日本沙漠学会正会員 各位

日本沙漠学会会長 吉川 賢
学会賞審査委員会委員長 豊田 裕道

日本沙漠学会細則第 34 条にもとづき、日本沙漠学会賞（学会賞、学術論文賞、進歩賞、奨励賞の 4 賞）を公募いたします。つきましては、学会賞受賞候補者を下記の要領でご推薦下さいますようお願い申し上げます。

記

1. 学会賞の種類

- (1) 日本沙漠学会学会賞 : 本学会において学術かつ事業活動に顕著な業績を挙げた会員に授与する。
- (2) 日本沙漠学会学術論文賞 : 「沙漠研究」に掲載された論文により乾燥・半乾燥地に関する学術上の顕著な業績を挙げた会員に授与する。
- (3) 日本沙漠学会進歩賞 : 乾燥地・半乾燥地に関する技術的、実践的な業績を挙げた会員または会員を含む団体に授与する。
- (4) 日本沙漠学会奨励賞 : 乾燥地・半乾燥地に関する萌芽的研究業績を挙げた会員に授与する。この場合の受賞者は、原則として当該年度において 35 歳以下の会員とする。なお、35 歳を超えた会員を奨励賞に推薦する場合には、その理由書を添付する。

2. 推薦期限 2018 年 2 月 28 日（水）当日消印有効

3. 推薦方法

以下の書類を期限までに学会賞審査委員会（幹事）宛に郵送して下さい。なお、推薦には「自薦」は含まれません。

- (1) 日本沙漠学会学会賞ならびに日本沙漠学会進歩賞を推薦する場合
様式 1 の推薦書 1 部
推薦に関する資料 1 組
- (2) 日本沙漠学会学術論文賞ならびに日本沙漠学会奨励賞を推薦する場合
様式 2 の推薦書 1 部
推薦に関する業績 1 組

4. 宛先（照会先）

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33 千葉大学 文学部日本・ユーラシア文化コース気付
日本沙漠学会 学会賞審査委員会 幹事 渡邊三津子
TEL/FAX : 043-290-2327 E-mail : watanabe.m415@gmail.com

5. その他

応募された書類は返却しませんので、必要な場合は写しを保管下さい。

なお、過去の受賞者については日本沙漠学会ホームページ（<http://www.jaals.net/>）をご参照下さい。

様式 1

(日本沙漠学会学会賞・日本沙漠学会進歩賞用)

平成 年 月 日

日本沙漠学会学会賞ならびに日本沙漠学会進歩賞推薦書

1. 推薦者 所属： 氏名： 印 住所・電話：
2. 被推薦者 所属： 氏名： 生年 年 月 日 住所・電話： 入会年：
3. 推薦業績 題目：
4. 推薦理由
5. 推薦業績に関する資料リストなど

様式 2

(日本沙漠学会学術論文賞・日本沙漠学会奨励賞用)

平成 年 月 日

日本沙漠学会学術論文賞ならびに日本沙漠学会奨励賞推薦書

1. 推薦者 所属： 氏名： 印 住所・電話：
2. 被推薦者 所属： 氏名： 生年 年 月 日 住所・電話： 入会年：
3. 推薦業績 題目：
4. 推薦理由
5. 推薦業績に関する資料リストなど
著者名（共著の場合は全員）、題目、掲載誌名、巻号、頁、発行年を記載すること。

記入上の注意

- 1) 書 式 A4 縦置横書き，明朝体 12 ポイント，上下左右マージン 2.0cm 以上，1 行文字数 35 ～ 40 字，1 ページ行数 35 ～ 40 行
- 2) 被推薦者 被推薦者が団体の場合は団体名およびその代表者を記入して下さい。
- 3) 推薦理由 箇条書きの場合は約 100 字以内で説明して下さい。
箇条書きでない場合は全体を 400 字程度で記載して下さい。
- 4) 様式 1 「日本沙漠学会学会賞・日本沙漠学会進歩賞」の場合 5. 資料はコピーなどを添付して下さい。
- 5) 様式 2 「日本沙漠学会学術論文賞・日本沙漠学会奨励賞」の場合 5. 業績リストは研究業績の別刷り（コピー可）を添付して下さい。

学会賞審査委員会からのお知らせ 日本沙漠学会若手会員のみなさんへ

学会賞担当理事 豊田 裕道
渡邊 三津子

日本沙漠学会では「奨励賞」「ベストポスター賞」など、若手研究者のみなさんを対象とした賞を設けています。

奨励賞

- 乾燥・半乾燥地に関する萌芽的研究業績を挙げた会員に授与されます。
※ 『沙漠研究』に掲載された論文や研究業績に基づき、学会員の推薦を受けて審査されます。
- 満35歳以下の若手会員を対象としています。※ 社会人経験者など「若手相当」とみなされる方は満35歳以上であっても対象となります。

ベスト ポスター 賞

- 研究内容、表現や説明技術、熱意などが優れているポスター発表に対して授与されます。
- 学術大会でポスター発表をする満35歳以下の学部生、大学院生と大学院修了・中退後3年未満の会員が対象となります。※ 社会人経験者など「若手相当」とみなされる方は満35歳以上であっても対象となります。

メリット① 自分の研究について知ってもらえる

受賞者の研究は、学術大会だけでなくホームページなどで紹介されるので自分の研究について多くの人に知ってもらえる機会になります。

メリット② 履歴書に書ける

「奨励賞」「ベストポスター賞」をもらったら、履歴書の賞罰の欄に書くことができるので、就職活動にも役立ちます。

日本沙漠学会に所属する若手会員の皆さん
全員にチャンスがあります！

学術大会で発表した人は、ぜひ
沙漠研究に論文を投稿しましょう！

【問い合わせ先】日本沙漠学会 学会賞審査委員／E-mail：jaals@kyouritsu-online.co.jp

講演会のご案内

日本沙漠学会乾燥地農学分科会会長

石川 祐一

拝啓 貴職益々清栄の段、大慶に存じます。

さて、乾燥地農学分科会では、下記のとおり講演会を開催いたします。奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

敬具

記

-
- 主催：日本沙漠学会乾燥地農学分科会
 - 後援：一般社団法人 日本ジビエ振興協会
 - 日時：2017年11月7日（火曜日） 13:00～18:00 （受付12:30～）
 - 会場：東京大学農学部(弥生キャンパス)フードサイエンス棟(旧4号館)中島董一郎記念ホール
(URL:<http://www.a.u-tokyo.ac.jp/campus/overview.html>)
-

ドローン・ロボットを用いた牧畜への新展開： 熊対策からジビエまで、そして沙漠・草原へ

講演会次第

-
- | | | |
|--------|--------|---|
| ★12:30 | — | 受付 |
| ★13:00 | —13:05 | 開会の辞:吉川 賢（学会長） |
| ★13:05 | —13:50 | ドローンを利用した放牧地の管理とその応用に向けた課題
講師：川村 健介 氏（国際農林水産業研究センター(JIRCAS)社会科学領域研究員） |
| ★13:50 | —14:35 | 小型UAV空撮・三次元化技術を用いた農村ランドスケープの復元
講師：栗田 英治 氏（農研機構農村工学研究部門農地基盤工学研究領域主任研究員） |
| ★14:45 | —15:30 | 動物型ロボットの対動物アバターとしての可能性 ～人類と動物の間に立てるか、特にクマとの間に
講師：齋藤 敬 氏（秋田県立大学システム科学技術学部准教授） |
| ★15:30 | —16:15 | ジビエの現在と将来・・・
講師：押田 敏雄 氏（麻布大学名誉教授，東京農業大学客員教授） |
| ★16:25 | —17:25 | 全体討論
モデレーター：石川 祐一（秋田県立大学准教授，分科会会長）
パネラー：川村 健介氏，栗田 英治氏，齋藤 敬氏，押田 敏雄氏 |
| ★17:25 | —17:30 | 閉会の辞:石川 祐一（分科会会長） |
-

※14:35 —14:45 ブレイクタイム

●参加費 無料（資料代 1,000 円）

電子メールまたはFAXで、①氏名、②TEL、③FAX、④E-mail、⑤所属をご記入の上、事務局宛にまでお送りください。

なお、当日の参加も可能です。

[申込先] 事務局：(株)アースアンドヒューマンコーポレーション(担当：深井)

FAX：018-872-1677 E-mail owner-cadal@iijnet.or.jp

【URL】 <http://www.jaals.net/>

2017 年 日本沙漠学会 秋季シンポジウムのお知らせ（再掲）

乾燥・半乾燥地域における砂漠化，あるいは土地の荒廃が世界的に重要な課題であるとの認識が高まる中，本学会が1990年に設立され，2年後の1992年に国連砂漠化対処条約が締結され，既に30年近くが過ぎました．この間，砂漠化防止という課題解決に向けて，研究のみならず，国際的な大規模プロジェクトからNPO，NGOによる植林活動など多様な砂漠化防止に向けた活動が行われてきました．もとより砂漠化は単なる自然現象ではなく，社会の変容にともなう人為活動に強く影響された複合的な課題であり，必要とされる研究や技術も，その地域の自然，文化，社会に適合するかどうか，あるいは，長期的な地域の持続可能性や社会の受容性といった面からの検証が重要です．本シンポジウムではこうした観点から，アフリカ，中央アジア，東アジアで砂漠化防止に向けた研究・実践に取り組んできた3名の方々をお招きし，これまでの取組と課題を共有し，今後の研究の方向性を議論します．

日 時：2017 年 10 月 28 日（土）13：00～17：00

場 所：筑波大学 東京キャンパス文京校舎 134 講義室

東京都文京区大塚 3-29-1

東京メトロ丸ノ内線茗荷谷駅下車 出入り口1より徒歩5分

http://www.tsukuba.ac.jp/access/bunkyo_access.html

テーマ：「砂漠化と向き合うー研究と実践の融合に向けてー」

プログラム：

13：00～13：10 開会挨拶・趣旨説明

13：10～15：20 第1部 話題提供

田中 樹（総合地球環境学研究所）

石田紀郎（京都大学名誉教授）

山中典和（鳥取大学乾燥地研究センター）

15：20～15：40 休憩

15：40～16：50 第2部 パネルディスカッション

16：50～17：00 総括・閉会

問い合わせ先

筑波大学 国際室 森尾貴広 morio.takahiro.fu@u.tsukuba.ac.jp

Desert Technology XIII & The 3rd International Conference on Arid Land 開催のお知らせ

これまで、日本沙漠学会が中心となって開催されてきた2つの国際会議が再び結合された、Desert Technology (DT) XIII/3rd Intern. Conf. on Arid Land (ICAL) が、2018年3月12日(月)～16日(金)まで、インドの Pondicherry にて開催されることとなりました。Pondicherry は旧フランス統治領 Puducherry 内の、海岸沿いのきれいな町で、インド第四の都市 Chennai (旧マドラス) からの往復バスもアレンジされます。日本からの参加者には、日本語でのご案内、国内銀行への円での参加費等振込、往復・visa のご案内など種々のサポートを学会が中心となってさせていただきます。

【発表要旨提出〆切】

2017年11月30日(木)

【会議日程(予定)】

Monday March 12, 2018

0800 – 1000 HRS: Registration
1000 – 1600 HRS: Conference tour and lunch
1930 – 2100 HRS: Welcome Dinner

Tuesday March 13, 2018

0900 – 1000 HRS: Registration
1100 – 1300 HRS: Plenary lectures
1300 – 1400 HRS: Working Lunch
1400 – 1830 HRS: Technical Sessions

Wednesday March 14, 2018

0800 – 0900 HRS: Registration
0900 – 1830 HRS: Technical Sessions
1900 HRS – Conference Gala Dinner

Thursday March 15, 2018

0900 – 1300 HRS: Technical Sessions
1300 – 1400 HRS: Working Lunch

Friday March 16, 2018

0900 – 1300 HRS: Technical Sessions
1300 – 1400 HRS: Working Lunch
1400 – 1600 HRS: Closing Sessions

詳しくは以下を参照ください。

本学会ウェブサイト：<https://www.jaals.net/>

DT XIII/ICAL3 ウェブサイト：www.dt13.in

日本沙漠学会 2018 年 第 29 回学術大会のお知らせ（第一報）

1. 大会概要

日時：2018 年 5 月 26 日（土）～ 27 日（日）

場所：石巻専修大学

〒 986-8580 宮城県石巻市南境新水戸 1 番地

アクセス <https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/access.html>

2. 研究発表申し込み

発表申し込み締め切り：2018 年 2 月 24 日（土）必着

発表要旨締め切り：2018 年 3 月 24 日（土）必着

3. 参加申し込み

参加申し込み締め切り：2018 年 5 月 13 日（日）必着

（エクスカーショ参加申し込みを含む）

4. 問い合わせ・研究発表申し込み先

第 29 回 日本沙漠学会学術大会実行委員会 事務局

〒 986-8580 宮城県石巻市南境新水戸 1 番地

石巻専修大学理工学部生物科学科 依田清胤

TEL：0225-22-7713（内線 3147） E-mail：jaals2018@isenshu-u.ac.jp

〔委員長〕依田清胤（石巻専修大学）

詳細はホームページ <https://www.jaals.net/>

学 会 記 事

日本沙漠学会第 131 回理事会 議事録

日 時：2017 年 7 月 8 日（土）15：00～17：00

場 所：新川区民館（東京都中央区）

出 席：吉川 賢（会長）、渡邊文雄、森尾貴広（以上、副会長）、窪田順平、酒井裕司、鈴木伸治、高橋新平、中村 徹、渡邊三津子（以上、理事）、田中 徹（監事）川端良子（編集委員）、依田清胤（2018 年度第 29 回学術大会実行委員長）田島 淳、三角誠司、齋藤哲治（オブザーバー）

委任状：矢沢勇樹（監事）、小長谷有紀、小島紀徳、島田沢彦、豊田裕道（以上、理事）、安部征雄、岩本 彰（以上、顧問）

I. 審議事項

1. 「おあしす」の内容確認
 - ・総務担当理事より原稿が提示され、内容の確認を行った。指摘があった箇所を修正後、直ちに佐藤印刷へ下版する。
2. 学会活性化について
 - ・吉川会長より、会員数減少についての対策や国際会議への対応を検討するための委員会の設置についての提案がなされた。
 - ・財務委員会に対しては助成金の獲得への取り組みとその受け皿を学会内に整備することについて検討することが依頼された。編集委員会に対しては、掲載記事の方向性や編集業務の委託についての検討が依頼された。企画委員会に対しては、30 周年に向けての企画や取り組みについて検討が依頼された。学会賞審査委員会に対しては、学会賞の魅力向上に向けた取り組みを行うことが依頼された。総務委員会に対しては、特に学会 HP 上において、様々な情報を発信する手続の確立と簡略化を行うことが依頼された。
3. 2017 年度学会賞受賞候補者推薦について
 - ・学会賞受賞候補者推薦のお願い記事についての確認が行われ、「沙漠研究」27 巻 1 号に掲載することを確認した。
 - ・一斉配信メールなどを活用し、会員に広く推薦の呼びかけを行うとともに、特に若手研究者に対し、積極的な投稿を呼び掛けることを確認した。
4. 地球惑星連合より学会賞受賞者情報の共有化に関する依頼
 - ・5 年程度の学会メンバーの受賞情報を提供することが承認された。総務委員会が取りまとめる。
5. 国際学会運営委員会について
 - ・DT と ICAL に対応し、また海外の会員数を増や

すことを念頭に、委員会の設立が提案され、渡邊副会長を中心に始動することを確認した。

6. 特別シンポジウムの企画について
 - ・企画委員より特別シンポジウム企画についての提案がされた。
 - ・本学会の「学際性」と「超域フィールド科学」という二つの特徴を活かした方向性で企画を進めていくことが承認された。
7. 今後の学術大会・秋季シンポジウムの日程と開催地について
 - ・2017 年度秋季シンポジウムが筑波大学にて 10 月 28 日に開催されることを確認した。
 - ・第 29 回学術大会開催予定を 2018 年 5 月 26・27 日とすることを確認した。
 - ・2019 年は学会の設立 30 周年であるため、都内での開催を検討することとした。
8. その他
 - ・吉野正敏名誉会員（第二代会長）のご逝去に際し、学会より供花を送ったことが報告された。また、沙漠研究 27-2 に吉野名誉会員の追悼文を掲載することとした。
 - ・内規に顧問の職務の項目を内規に設けることとした。総務委員が担当する。

II. 報告事項

1. 第 28 回学術大会（5/27～5/28、千葉工業大学東京スカイツリータウンキャンパス）について
 - ・報告が「おあしす」27-1 に掲載される。
2. 日本地球惑星科学連合第 16 回学協会長会議および H29 年度提示社員総会について
 - ・代理で出席した窪田理事よりの報告があった。
3. 2017 年秋季シンポジウム（10/28、筑波大学東京キャンパス文京校舎）について
 - ・進捗が報告され、開催の案内を「おあしす」27-1 に掲載することを確認した。
4. 2018 年度第 29 回学術大会（5/26～5/27、石巻専修大学）について
 - ・実行委員会より進捗状況が報告された。エクスカーションとして、デ・リーフデ北上の見学を行う。デ・リーフデ北上には、文章にて見学の依頼を出すこととした。見学では白衣とスリッパの使用のため、参加者から 500 円 / 人を徴収することとなる。
5. DTXIII について
 - ・2018 年 3 月 12 日の週に開催予定である。チェンナイ南方にあるボンディシェリ連邦直轄領で開催

- される。
- ・また DT・ICAL 用の銀行口座の管理について議論がなされた。
6. 風送ダスト研究会 (7/13, 鳥取大学乾燥地研究センター) について
- ・開催の案内を「おあしす」27-1 及び HP へ掲載する。
7. 片倉もとこ記念沙漠文化財団 2017 年助成事業 (若手研究) 公募のお知らせについて
- ・公募の案内を「おあしす」27-1 と HP で掲載するとともに、一斉メールで会員に伝達する。
8. 各委員会からの報告
- ・編集委員会：投稿論文審査状況が報告されるとともに、編集や印刷等の業務委託にかんする検討結果が報告された。コストダウンや利便性の向上ができるような体制作りを進めて行く。

- ・総務委員会：「おあしす」原稿の書式などについて提案報告がされた。

9. 共催・後援・ほか

- ・公開シンポジウム「我が国の衛星地球観測計画」(7/18, 日本学術会議)
- ・First International on Water Management on Arid & semi-Arid Land (WMAL2017) (10/7~10/10, ヨルダン)
- ・International Workshop on Wind-Related Disasters and Mitigation (2018/3/11~3/14, 東北大学)

Ⅲ. その他

- ・日本土壌肥料学会より、小学校学習指導要領への「土の粒」の記載の賛同に関する報告と御礼があった。
- ・第 132 回理事会について、10 月 28 日、10:00～、筑波大学東京キャンパス文教校舎にて開催予定。

* * * * * 会 員 動 向 * * * * *

●新入会員

なし

●退会会員

正会員

額尔登 高娃, 三上 正男

賛助会員・団体会員名簿

アースアンドヒューマンコーポレーション	194-0041	町田市玉川学園 8-3-23	Tel : 042-710-7661
株式会社ウイジン	158-0097	世田谷区用賀 2-12-14	Tel : 03-3700-0531
NTC インターナショナル株式会社	164-8721	東京都中野区本町 1-32-2	Tel : 03-5354-3621
株式会社大林組技術研究所	204-8558	清瀬市下清戸 4-640	Tel : 0424-95-1060